

# 令和6年8月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和6年8月20日(火) 午前9時00分  
白石町役場(3階 大会議室)
- 2 出席委員 北村教育長 松尾委員 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 久原学校教育課長 矢川生涯学習課長 鶴田主任指導主事  
永石新しい学校づくり課長 吉原学校教育課長補佐  
山下新しい学校づくり課長補佐 永尾生涯学習課長補佐  
喜多指導主事 堤教育総務係長 今福学校教育係長  
本山推進係長 池田施設係長 下平指導主事 武富指導主事
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案  
附議31号 「白石町立学校設置条例の一部を改正する条例」について  
附議32号 9月補正予算について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第31号から附議第32号すべて議決
- 9 その他
  - ・事務局からの報告
  - ・傍聴者 なし

1 開 会 9:00～

久原課長

2 前回議事録の承認 9:01～

7月定例教育委員会の会議録を資料により説明。

**委員全員承認**

3 教育長の報告 9:02～

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

7/30 第1回「チームSAGA部活」市町連絡協議会

白石町に実践発表の依頼があり、下平指導主事の方で、本町の取り組みについて発表していただきました。

8/7 県・市町教育長意見交換会

主な内容としては英語教育の充実、それから教員不足について意見が出ていました。

8/9 人権擁護委員委嘱状交付式、意見交換会

退任された方が、草場加代子さんで3期9年、石橋京子さんで2期6年、委員を務めていただきました。新しく百武安秋さんと原崎幸恵さんが委員に就任されています。

8/18 ありあけ夏祭り

関係者の方が知恵を出し合い準備をして実施されています。今後、まちづくりについての意識（在り方）に大きく貢献されると思っています。

8/19 表敬訪問

第66回小・中学生全国空手道選手権大会に出場され、組手の部で坂口駿太さん（白石小学校6年）が優勝、山口善大さん（白石中学校1年）が敢闘賞という素晴らしい成績を収められています。

4 連絡事項 9:14～

(1) 問題行動等月別報告について

武富指導主事：資料により詳細説明。

7月末現在での不登校の件ですが、小学校で1名が新たに出てきています。中学校では2名が新たに出てきています。完全不登校の生徒が、小学校では5名、中学校では19名となっています。小学校は先月と変わりませんが、中学校は先月20名だったのが19名となり、人数でいえば1名減となりますが、完全不登

校ではなくなった子ども達と、完全不登校になっている子ども達が数名入れ替わりとなっています。ただ改善傾向にあるという生徒が小学校では1名、中学校で10名います。夏休みもまもなく終わり、休み明けが大事になると思われますので、各学校で子ども達への対応をしていただけたらと思います。いじめについては、小学校の方で覚知が41件、認知が41件、解消が2件となっています。中学校の方で覚知が4件、認知が4件となっています。しっかり子ども達の声聞き、学校の方で対応していただいているところです。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。  
(全委員承諾)

## (2) 全国学力・学習状況調査の結果について

喜多指導主事：小学校の調査について資料により詳細説明。

4月18日に全国学力・学習状況調査が行われました。小学校については、国語、算数が行われ、中学校については、国語、数学となっております。英語においては、3年に1回行われています。

国語の平均正答率は白石町が68で、佐賀県（公立）が66で、全国（公立）が67.7となっており、全国、県よりやや高い正答率となっています。

算数の平均正答率は白石町が67で、佐賀県（公立）が62で、全国（公立）が63.4となっており、全国、県より高い正答率となっています。

鶴田主任指導主事：中学校の調査について資料により詳細説明。

国語の平均正答率は白石町が51で、佐賀県（公立）が55で、全国（公立）が58.1となっており、全国、県より低い正答率となっています。

数学の平均正答率は白石町が41で、佐賀県（公立）が48で、全国（公立）が52.5となっており、全国、県より低い正答率となっています。

北村教育長：小学校、中学校に分けて調査内容の説明をしていただきました。

小学校においては、県よりも高い正答率で子ども達も頑張っています。ここ数年、小学校は右肩上がり、確実に学力が伸びてきていると思います。中学校においては、非常に厳しい結果となっています。子ども達のこの試験に対する意識が無答率の多さでも

分かると思います。小学校ではよくて、中学校では伸ばせていない状況なので、厳しく言えば、求められる学力に沿うような授業及び指導が出来ていないのではないかと思います。この結果を分析し、授業改善に努めていく必要があると思います。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

一ノ瀬委員：一律には言えませんが、小学生では正答率が全国より上回っていたのが、中学生になると下回るとというのが気になります。それに本のような問題文を読まないといけないテストで、最終的な解答は1つや2つといった問題に対し、私は解きたくなくなると思います。それは喜多指導主事が言われたように解き慣れ、それから経験、こういう問題を読んでどういうところを見ればいいのか、いらない情報の把握等に子ども達が慣れていないため、そういう点では授業の改善、こういう難読問題については、授業において復習する等の対策が必要だと感じました。

堤 委員：無答率が多かったのは、おそらく問題は渡された時に、まず全体の見通しを立てていないような気がします。中学生ならば、大まかな見通しを立てるぐらいの習慣はあってもいいのかなと思いました。

川崎委員：小学校から中学校に上がる段階で、進学する子ども達は、白石の小学校においては多くないと思われますが、その子ども達が抜けたことによって下がるものなのかは分かりません。それともある程度の点数の開きが元々あるから中学校で伸び悩んでいるのか、小学校の様子を見てみると、あまり理解していない様に感じるところもあります。

松尾委員：やはり子ども達のヤル気も関係していると思います。ヤル気が感じられるような授業への改善も必要だと思います。

北村教育長：この結果を踏まえ、子ども達の試験に対する心構え、課題はたくさんあると思いますが、学校側もこの試験に対する意識を変えていく必要があると思います。

一ノ瀬委員：難しい問題を解けたときの喜びを子ども達に知ってもらえば、その後も難しい問題を解こうという気になると私は思います。難しい問題にチャレンジし解いた時の喜びを知らないと、こういう問題に一生懸命取り組もうという気にはならないと思います。だから、解ける喜びを感じられるような授業をしてほしいと思います。

鶴田主任指導主事：穴埋め式のワークシートというような単純に重要事項をそこに入れ込むような授業になっていないか、何か思考が伴うように読ませたり書かせたりするような問題かどうかというところは、考慮する必要があると思います。

久原課長：この件について、他にないでしょうか。

(全委員承諾)

### (3) 県テストの結果について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

このテストは4月18日に行われています。白石中学校が開校してまだ18日目で、3つの中学校の子ども達と一緒にまだ日も浅い状況下でのテストでした。ですから、学力的な部分もあると思いますが、やはりまだ学級が出来上がっていない状況、また学校の風土もきちんと出来上がっていない状況でのテストだったというところは、少し考慮しないといけないのではと思います。小学校5年生の国語、算数、特に算数においては、いい結果だったと思っています。中学校は中学2年生の国語、数学、英語の教科で行われましたが、どれも県より低い結果でした。この結果を、新しい中学校での授業改善に繋げていただければと思っています。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

### (4) 9月の行事予定表について

堤 係長：資料により詳細説明。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

### (5) 第51回福富地域こども浮立大会の開催について

野中係長：地域の伝統を誇る郷土芸能の伝承、保存と育成を図るとともに、青少年の健全育成を図る。

期日については、8月25日(日)午前9時 開会  
会場は、福富ゆうあい館で開催します。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

久原課長：次回の教育委員会の日程を決めたいと思いますが、9月25日（水）もしくは9月26日（木）で考えていますが、いかがでしょうか。それでは、9月25日、水曜日の午前9時00分から開催したいと思います。

（全委員承諾）

（6）議 事 10：30～

**附議第31号**

**白石町立学校設置条例の一部を改正する条例について**

本山係長：資料により詳細説明。

改正内容としては、令和12年開校の白石地域新設小学校に伴うものです。令和12年ということで期間はまだありますが、今後、進めていく学校整備の補助事業の採択、また用地買収に伴う税務署協議等に条例による定めが必要となりますので、早期に改正を行うものです。学校名につきましては、まだ決まっていないため、（仮称）白石地域新設小学校としています。この改正する条例を9月議会へ上程します。また学校名が決まり次第、再度改正が必要となります。

北村教育長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

**委員全員承認（附議第31号）**

**附議第32号**

**9月の補正予算について**

池田係長：新設中学校施設整備費の補正について資料により詳細説明。

補正の理由としては、本年度に委託した旧福富中学校の校舎等解体設計業務を完了させ、本年度中に解体工事に着手するための必要額の補正となります。

事業変更内容としては、旧福富中学校の跡地を分譲住宅にするため、校舎等の解体工事を行う必要があり、その工事費と工事監理業務を新規追加で補正を行います。補正額は、監理委託料として480万円を増額補正しています。この額については、設計委託料の入札減により予算残があるため、その残額から必要額を組み替えていますので、委託料としての増減はありません。工事費として2,700万円を増額補正しています。

北村教育長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

堤 委員：校舎の解体工事ということですが、解体までを教育委員会で行う

のですか。イメージとしては、廃校になった時点で企画財政課に管轄が移ると思っていました。例えばこれから先、有明地域、白石地域で同じように解体等が出てきた場合も、同じように教育委員会で工事を行うのですか。

山下課長補佐：今後、公共施設の再編等が進む中で、解体までは所管する課で行うことを役場内で取り決めをしています。

矢川課長：福富体育施設管理費の補正について資料により詳細説明。

福富社会体育館及びジムナスティクスホール白石（旧福富中学校体育館）でAEDが利用できるよう設置費用を新たに補正する。ジムナスティクスホール白石を安心安全に利用できるよう、改修工事を行うための必要額を補正する。

事業変更内容としては、電気設備・機械設備改修工事費を精査したことによる不足額を増額補正する。法定基準に合うよう24時間換気用の換気扇（1ヶ所）を設置する。老朽化している指導員室床の張替え及び外壁の補修（洗浄）工事、トイレのバリアフリー化（段差解消・洋式化）の改修工事を行い、補正額としては、14,847千円を増額補正します。

北村教育長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

松尾委員：外壁の補修工事は、水圧での洗浄のみですか。

矢川課長：塗装も検討しましたが、今回は専用の洗浄剤も使用しながら洗浄を行っていきます。

川崎委員：トイレのバリアフリー化ということですが、玄関等はバリアフリーになっていますか。

矢川課長：玄関はなっていませんが、玄関ではなく体育館にまっすぐ入れるようにスロープがありますので、今回はそれで対応したいと思っています。

松尾委員：福富中学校の運動場等に草が繁茂しており、管理上、よくないと思われるため、対応が必要ではないかと思います。

久原課長：解体工事が始まるのが、年明けからの予定であるため、何かしら対応を検討したいと思います。

北村教育長：この件について、他にないでしょうか。

**委員全員承認（附議第32号）**

5 閉 会 10:45

久原課長